

飯伊地区 産業経済動向

No.493 2020/4
(2.5.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町 1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	2,714	枚	△	17.9 %	△	10.3 %
	金額	4,053,982	千円	△	32.5 %		7.1 %
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 5 枚)	
	金額	0	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 794 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	9	件	(前月 3 件)		(前年同月 7 件)	
	飯伊	1	件	(前月 0 件)		(前年同月 1 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(3月)		44	戸		15.8 %	△	6.4 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(3月)		1.29	倍	(前月 1.39 倍)		(前年同月 1.31 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,587	台	△	56.3 %	△	30.7 %
	中古車	806	台	△	11.8 %	△	8.5 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (3月)	新車	6,070	台		40.5 %	△	2.3 %
	中古車	1,089	台		36.1 %	△	3.4 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	68,176	台	△	30.1 %	△	39.3 %
	出	68,002	台	△	31.2 %	△	40.4 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	47,751	台	△	27.1 %	△	36.3 %
	出	46,413	台	△	27.1 %	△	35.3 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	9,625	台	△	21.4 %	△	54.2 %
	出	9,992	台	△	18.8 %	△	58.7 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	25,480	台	△	27.5 %	△	42.5 %
	出	25,971	台	△	27.8 %	△	42.2 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		259	件		13.1 %		100.8 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0	件	(前月 2 件)		(前年同月 1 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	1,373	人	△	87.8 %	△	94.8 %
	飯田～名古屋	2,087	人	△	75.9 %	△	88.8 %
	飯田～長野	2,122	人	△	52.5 %	△	77.3 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	1,472	人	△	84.4 %	△	93.2 %
市内循環バス乗車人数	左回り	1,983	人	△	37.2 %	△	40.2 %
	右回り	1,971	人	△	31.3 %	△	41.0 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性インキ
[リサイクル紙100%]を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

4月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス59.3で、前月から11.2ポイント低下。翌月予測はマイナス89.7で、前月から17.7ポイント低下している。

電気、精密機械器具の生産は、前月比減少～やや減少。一部に前年比も減少との声。景況感は総じて悪化。半導体、液晶製造装置向け部品の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。景況感が悪化した業者は見られないが、「中長期的な見通しは明るいものの、足元の2～3か月先はどうか様子が分からない」など先行き弱含み、ないし不透明感が増しているとの声は多い。産業機器や医療機器向け部品の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、減少との声はやや多い。一方、販売額の前月比は、減少との声が多数を占める。製品単価が下降傾向にあるとの声が多く寄せられた。建築用金属製品の受注は、前月比、前年比ともやや減少。自動車向け部品の販売は、前月比減少も、前年比増加との声が多く寄せられた。小型電磁機器の生産は、前月比減少との声。先行きも弱含みという。FA関連モーターの受注は、前月比やや減少との声。光学機器部品の生産は、前月比概ね横ばい、前年比やや減少との声が多く寄せられた。電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、先行きも弱含みとの声。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、減少～横ばい。一部に、前年比はやや減少との声。水引製品の売上の前月比は、横ばい～増加。目下のところ荷動きは順調の様子も、「7月の新盆から動き始める盆用品の国内需要は気がかり」など、先行きの不透明感は非常に強い。漬物の販売は、前月比、前年比とも減少との声が多く寄せられた。

建設業

4月の建設業の景況DIはマイナス7.1で、前月から14.2ポイント低下。翌月予測DIはマイナス13.3で、前月から13.4ポイント上昇。

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約10.4億円、前月比79%増加、前年比は25%減少している(5月15日調査時点)。

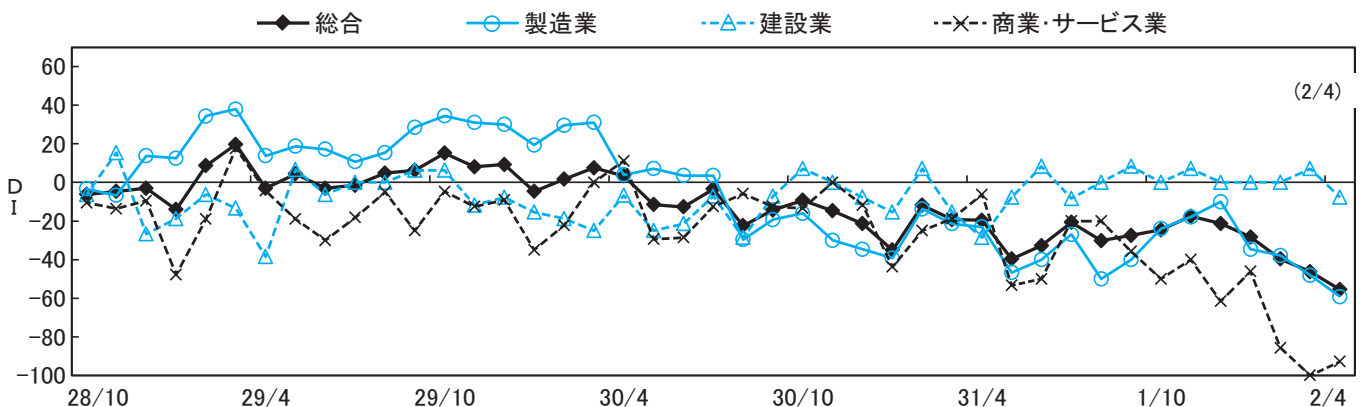
当月の受注残高の前月比は、増加した業者、減少した業者ともに見られるが、やや減少～横ばいとの声が多数を占める。当月は、「例年4～6月は公共事業が少なくなる時期だが、コロナの影響もあり、早期発注が望まれる。ただ、コロナによる経済環境の変化が業界にどのような影響を及ぼすのか見通せない」など、コロナの影響に関する声が多く寄せられた。

当地区の3月の住宅着工戸数は44戸。前月比16%増加、前年比は6%減少している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばい。「建築は、公共工事はなく、民間工事も少ない。住宅は、リフォームは少ないが、新築はまずまず」などの声が多く寄せられた。

商業・サービス業

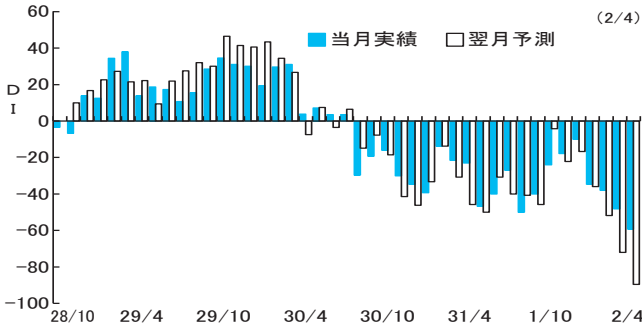
食料品、酒類の売上の前月比は、業者により増減が分かれる。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、景況感についてはやや悪化との声。先行きも弱含みという。衣料品の売上は、前月比、前年比とも減少という。電化製品の売上は、前月比概ね横ばい、前年比やや減少との声が多く寄せられた。OA機器の売上は、前月比減少、前年比はやや増加との声。土産物の売上は、前月比減少。景況感も悪化との声が多く寄せられた。医療、介護関連機材の売上は、前月比、前年比ともやや減少。「コロナウイルスを恐れて病院へ行く患者の減少が影響している」などの声。市内料理店の売上は、前月比、前年比とも減少。市内宿泊施設の売上は、前月比、前年比とも減少、特に金～日曜日、祝日の減少が大きいとの声。昼神温泉の売上は、前年比減少、「外出制限が解除されたとしても、今までのようにお客様が来てくれるのか不安。3密への対応で改修も検討しなければならない」などの声が多かった。タクシーの売上は、前月比、前年比とも減少との声が多く寄せられた。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月実績DI	-59.3	(前月 -48.1)
翌月予測DI	-89.7	(前月 -72.0)

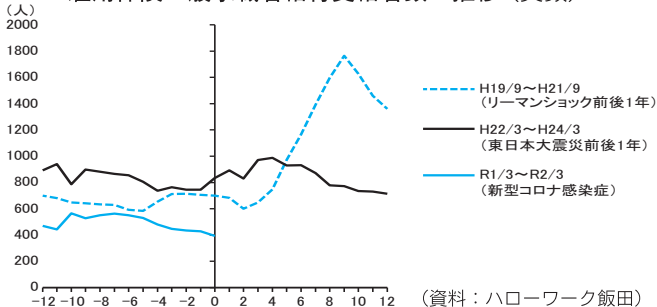
当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス59.3で、前月から11.2ポイント低下。翌月予測はマイナス89.7で、前月から17.7ポイント低下している。

【リーマンショック時の当地域の雇用関連統計】

当月は、本誌調査先から「リーマンショック時より現在の状況は悪い」といった声も寄せられている。今回は、リーマンブラザーズが破綻した平成20年9月前後や東日本大震災のあった平成23年3月前後の雇用保険一般求職者給付受給者数や有効求人倍率の推移をご紹介します。

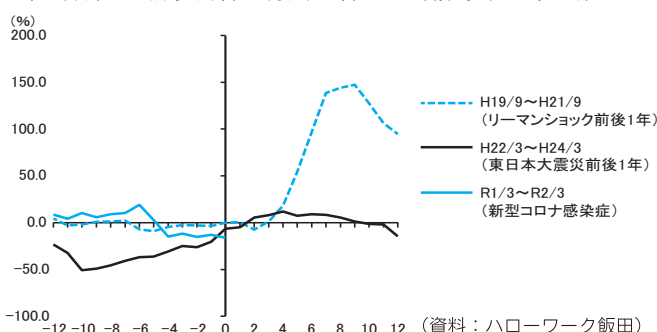
まず、雇用保険一般求職者給付受給者数を見ると、リーマンブラザーズ破綻前後では、破綻前に550人～800人の間で推移していた受給者数が、破綻3か月後くらいから急激に上昇していた。東日本大震災時は、やはり発生後に多少の増加が見られるが、リーマン時ほどではない。また、本年3月以前の1年間の受給者数の水準は高いとはいえないように思われる。

雇用保険一般求職者給付受給者数の推移（実数）



とはいえ、リーマン時と今とでは、労働者数など環境に違いがあることも考えられるので、雇用保険一般

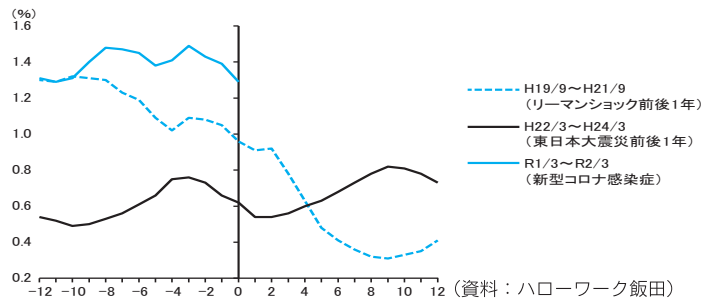
雇用保険一般求職者給付受給者数 対前年増減率の推移



求職者給付受給者数の推移を前年増加率で見ると、リーマンブラザーズ破綻までほぼ前年並みの受給者数で推移していたものが、急激に増加率が上昇した。それに比べると、東日本大震災時は、当地域ではそれほど急激な変化は起こらなかった。

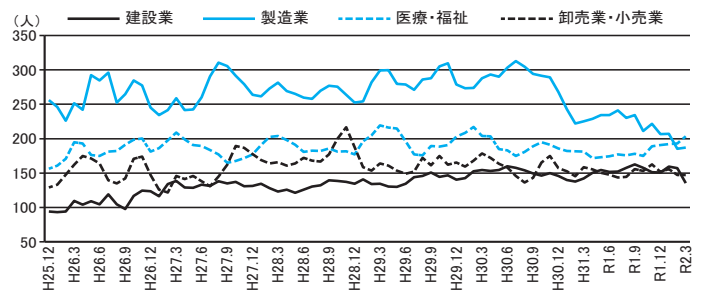
一方、有効求人倍率の推移を見ると、リーマン時は8か月くらい前から趨勢的に低下していたが、リーマンブラザーズ破綻以後さらに急激に低下した。一方、東日本大震災時は震災以後上昇している。とはいえ有効求人倍率が1倍を超えるのは平成25年8月になってからである。

ハローワーク飯田管内 有効求人倍率（パートを含む実数）の推移



こうしてみると、リーマン時の経済情勢の変化が当地域の雇用情勢に与えた影響は大きなものがあったと思われる。ところで本年3月現在の雇用状況は、雇用保険一般求職者給付受給者数は概ね前年並みの水準で推移している。一方、3月現在有効求人倍率は、依然1倍を超えているものの、4か月ほど前から低下しつつある。景気の先行指数といわれる新規求人数を見ると、グラフにないが宿泊業・飲食サービス業では新規求人数が減少している。また、求人数の多い業種別に見ると、製造業では減少傾向にあるが、それ以外の業種では目下のところそうした傾向は見られない。

ハローワーク飯田管内 業種別 新規求人数の推移
(3か月移動平均)



機械加工製造業

電気、精密機械器具の生産は、前月比減少～やや減少。一部に前年比も減少との声。景況感は総じて悪化している。先行きも弱含みとの見方が多い。雇用面では、一部に積極的な様子も窺える。設備面では当面現状維持との声が多い。原材料、資材価格や販売価格に当月大きな動きはなかった様子。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。「新型コロナの影響で一部の設備投資が数か月単位で後ろ倒しとなった」「当面の受注は確保するも、先行きは不透明」「現状良好だが、先行き不透明」「中長期的な見通しは明るいものの、足元の2～3か月先はどうか様子が分からない」「FPD関連は減少」といった声が聞かれ、景況感が悪

化した業者は見られないものの、先行き弱含み、ないし不透明感が増しているとの声は多い。製品価格の低下圧力は強い様子も。雇用面で「現状充足も、先行若干名」「新卒者1名。経験者の募集は続ける」など積極的な様子も窺える。

産業機器や医療機器向け部品の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、減少との声はやや多い。一方、販売額の前月比は、減少との声が多数を占める。前年比は、減少との声が多いが、横ばいないし増加との声も複数。「製造装置向けは良好」「現時点では落ち着いているが、先は客先でも分からない。中長期的には明るいと思うのだが」といった声や、「医療向けは、調整もあって減少が見込まれている」「コロナで停滞している。全体的に仕事量が減少。先が見えない」「全体的に減少」「食品製造向けの製品は予定が入らない。リーマン時より厳しいようにも感じる」「新規立ち上げがあるが生産性が悪い。またコロナの影響で外注工程が間に合わず、売上が伸びない」「遊戯機器向けの見通しが立たない」「航空機関連や輸送機器関連でコロナの影響が現れている」「コロナ対策で人、物の流れが滞っている」など、先行きの不透明感が強い中、景況感が悪化した業者は多い。

こうした中、「同業全体に冷え込んでいる。見積単価を下げないと受注できない」「仕事が減少すると値引きも厳しくなる」など、製品単価が下降傾向にあるとの声が多い。また、「雇用調整助成金を利用して休業せざるを得ない」「月に数日の休業を実施予定」などの声も。こうした中であっても、設備面では「導入予定」など積極的な声が少なくない。

建築用金属製品の受注は、前月比、前年比ともやや減少、「新型コロナウイルスの関係で大手ゼネコンを中心に工事が中断」「当月までは好調も、次月以降急落しそう。建設関係の景況は、他業種より少し遅れて現れるので、先々に不安は残る」「やはりコロナの影響は出ている」などの声が寄せられ、景況感も悪化している。

自動車向け部品の販売は、前月比減少も、前年比増加との声。先行きは、当面大きな動きは見込まれていないという。

小型電磁機器の生産は、前月比減少との声。先行きも弱含みという。雇用面で不足感があるとの声が聞かれた。

FA関連モーターの受注は、前月比やや減少との声。「新型コロナウイルスの影響が今後懸念される」ほか、依然「中国における貿易摩擦の影響が国内販売で出ている」こともあって、先行きの不透明感は強い様子。

光学機器部品の生産は、前月比概ね横ばい、前年比やや減少との声が寄せられた。先行きは弱含みという。雇用面で不足感を指摘する声も。

電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、先行きも弱含みとの声が聞かれた。「コロナの影響で中国からの製品輸入が2か月分遅れている。工場はほぼ正常に稼働しているが、物流が戻っていない」という。雇用面で不足感を指摘する声が聞かれた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、減少～横ばい。一部に、前年比はやや減少との声も。「コンビニ向けの減少」「イベント、お土産、駄菓子、テーマパークなど、営業自粛しているところ向けはすべてだめ。食品スーパーは堅調」「土産物が動いてくれることを願う」「コロナで景気は悪化しそう」「少しずつ悪くなっている。コロナの影響で何が起きてもおかしくない。準備しておかねばと思う」「先行きは不透明」など、景況感悪化した業者が多い。雇用面、設備面

で積極的な声は聞かれない。

水引製品の売上の前月比は、横ばい～増加。「今のところ昨年並みの受注残があり、順次出荷している」「中国の各工場は概ね稼働し、入荷は順調」など、目下のところ荷動きは順調の様子。とはいえ、「7月の新盆から動き始める盆用品の国内需要は気がかり」「今年の秋以降の商売がどのような状況になるのか見通しが立たず、非常に不安」「コロナの影響で結婚式、葬儀の延期、簡略化が進んでいる。『コロナ後の新しい生活様式』などと話題になるが、当業界にとっては逆風になることも考えられるのでは」などの声が寄せられ、先行きの不透明感は非常に強い。一部に設備面で積極的な声も。

漬物の販売は、前月比、前年比とも減少との声。「飲食、外食といった業務用商品の売上が大幅に低下。今後も外食需要や観光需要が見込めない」との声が寄せられた。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比やや増加も、景況感の好転にはいたらないとの声。当月、原材料、資材価格がやや上昇したという。先行きの不透明感を指摘する声が聞かれた。

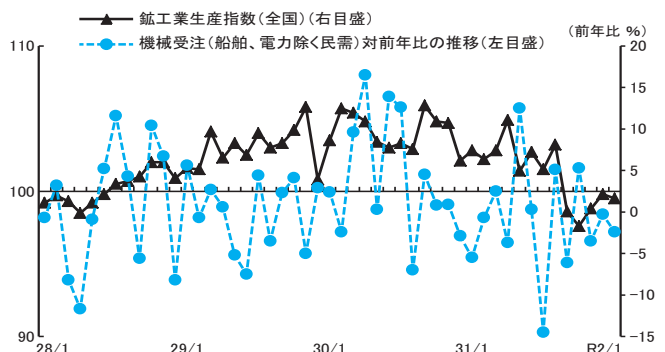
印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比とも減少との声。「コロナの影響で各イベントが中止ないし延期となり、様々な印刷物に影響している。中には10月のイベントで中止が決まってしまったものもある。」「公民館報やPTA会報等で、イベント中止や集客自粛で記事不足のため休刊するケースもあると聞く」などの声が寄せられた。

衣料品の販売は、前月比、前年比とも減少との声。「百貨店、専門店共に営業自粛しており売上が落ち込んでいる。通常の商品はまったく作らせてもらえない。同業もほとんど仕事がない状況」「一部のシャツなどは素材入荷、生産もできているが、他は皆無に等しい。マスクの注文もあるにはあるが、原材料が高騰しており売価に転嫁できないし、そもそも手に入らない」「医療向けの話もあるが、生地の入荷も不明で当てにしたくともできない」などの声が寄せられた。こうした中、製品価格が下降気味との声も。

【企業からのコメント】

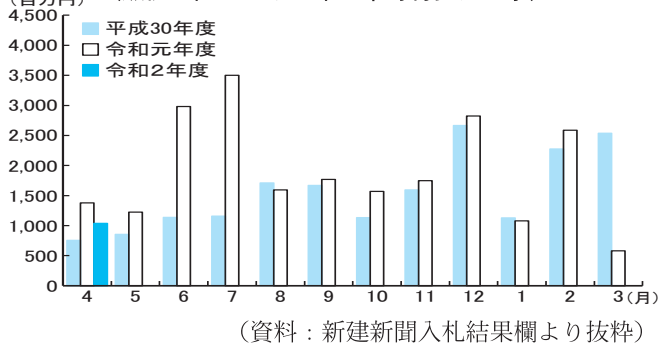
- ★現状では設備は入れられない。7月頃に予定はしている。
- ★男性希望の求人に対する、女性の問い合わせが増えてきている。
- ★コストダウン要請は厳しい。転注もある。
- ★「助成金、給付金を早く受け取れるようにして欲しい」「政府の支援を大いに期待している。迅速な対応をお願いします」

集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



月別入札額

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新建新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -7.1 (前月 7.1)

翌月予測DI -13.3 (前月 -26.7)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約10.4億円、前月比79%増加、前年比は25%減少している(5月15日 調査時点)。

当月の受注残高の前月比は、増加した業者、減少した業者ともに見られるが、やや減少～横ばいとの声が多数を占める。「年度繰越工事が少ない」「新規に着手する工事が少ない」「当月、例年になく発注が少ないように感じる。コロナの影響が大きいのでは」といった声や、「例年通りの受注活動。災害対応等で工期延長となった業務もあり、例年並みに残高を確保」「土木は年度初めで一段落の様相だが、三遠南信自動車道関連や河川改修などで忙しい業者もある」「特に国は三遠南信自動車道関連工事、国土強靱化に伴う河川工事や砂防、地すべり対策工事など発注している。県も法面、舗装工事などが発注されていて、積極的に応札していきたい」「4月に入っても依然繁忙感がある」などの声が寄せられた。

「屋外作業が多い土木ではコロナの影響は少ないが、住宅や一般建築では密の状態になる場合もあり、若干の影響があると聞く」「当地区はコロナの影響が小さく、事業所内の活動は通常通りだが、営業活動では各社の状況が異なる。年度末完成工事の状況次第で控えられるところは控えているのではないかと」「例年4～6月は公共事業が少なくなる時期だが、コロナの影響もあり、早期発注が望まれる。ただ、コロナによる経済環境の変化が業界にどのような影響を及ぼすのか見通せない」「コロナ対策費等で公共事業が減少しないか注目している」など、当月はコロナの影響に関する声が多く寄せられた。

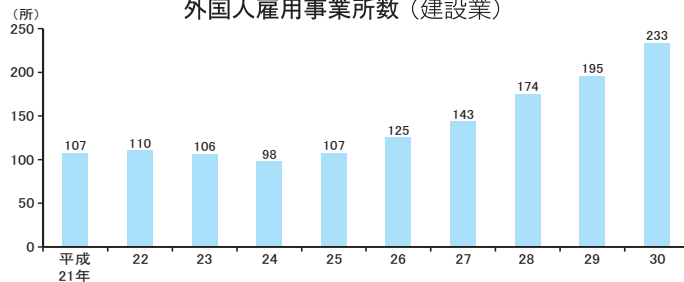
時期的なことであっても「相変わらず忙しいが、人手不足感は多少解消」というものの、「ハローワークの求人は比較的多い。人員対策は各社共通の問題となっているのでは」「新卒求人は、求人サイトに掲載しても反応が少なく、各社苦労しているのでは」「建設技術者募集」「求人活動は続ける」「施工社員不足」「先行き不足しそう」など、依然人員の不足感は強い様子。

【県内建設業の外国人雇用事業所数】

長野県労働局によると、平成30年10月末日現在、県内で外国人労働者を雇用している建設業事業者は233者で、外国人を雇用している全事業所の約7%を占め、平成25年以降増加傾向にある。JETROによると、宮崎市のアース建設コンサルタント株式会社は、ホーチミン市建設短期大学やトゥーロイ大学ホーチミン校で履修コースを開設、1年かけて日本語および日本の建設技術を習得させており、2020年4月までに184人が同コースを履修、うち125人が日本企業に採用されて

いるという。既に関東圏の企業10社も同コース修了生を採用しており、今後も広く日本国内の建設業界で活用してもらう予定という。

外国人雇用事業所数(建設業)



(長野労働局：長野県における外国人雇用状況の届出件数(平成30年末現在))

民需

当地区の3月の住宅着工戸数は44戸。前月比16%増加、前年比は6%減少している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、概ね横ばい。「建築は、公共工事はなく、民間工事も少ない。住宅は、リフォームは少ないが、新築はまずまず」「宅地造成、工場の設備投資案件がある」などの声。コロナに関し、「建築ではコロナの影響が徐々に解消されてきた」「他業種も大変な状況と聞いているが、建設業でも工事延期を決断されたり、中止されたりと混乱してきている。終息を望むが、長期戦になるのでは」「感染者数の動向で人出が左右されているが、治まってくれば消費者の意識も戻るのでは」などの声が寄せられた。

建設資材

建設資材の売上は、「先月の実績だが、落ちたと思っていたが、縮めてみるとそうではなく、一安心」との声が寄せられた。

鋼材の売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや減少という。「大きな変化はない。今のところコロナの影響は出ていないが、製造業関係でも落ち込みが見られるし、都市部の建設状況が悪化しており、全国的に見れば鋼材需要は低迷。当地区の景気の先行きへの不安は大きい」などの声が聞かれた。鋼材価格は、「建設向け鋼材は下降傾向。一般材は横ばい」という。

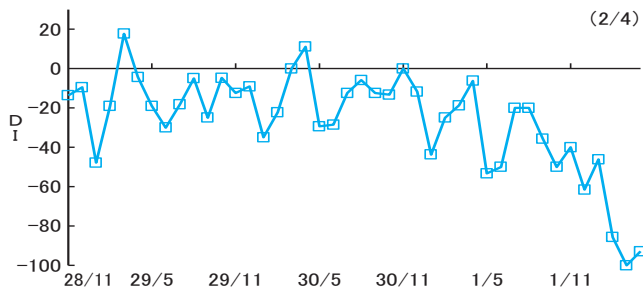
当月の生コンの売上は、「まとまった出荷があった」など、前月比、前年比とも増加。主な出荷は、「三遠南信自動車道工事、リニア関連工事、中央自動車道工事、砂防工事、工場新築工事に関わるもの」で、「リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の1割程度」という。コロナの影響に関し、「目下のところ、リニアの工事のように各所で工事中断といったことはないが、この先は分からない。一現場でもコロナが出て、工事が止まってしまうことを懸念」「今後、計画通り発注されるか心配」などの声が寄せられた。

骨材の売上は、前月比、前年比とも増加。「当月は前年同月比で増加。しかし、決算に向けて累計を取ると、目下昨年を下回っている」「期待した出荷はなかったが、結果的には前年同月を上回った」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★当地区でも景気悪化の影響はこれから出るのではないかと。
- ★ダンプ運転手は慢性的な人手不足。他業種からの転職を期待する声も聞かれる。
- ★製造業でも仕事が少ないところがある中で、建築業はまだ幸いだと思う。

商業・サービス業DI



当月景況DI	-93.3	(先月 -100.0)
翌月予測DI	-78.6	(先月 -100.0)

商業

食料品、酒類の売上の前月比は、業者により増減が分かれた。売上増の業者からは「コロナの影響で外出が控えられた分売上は増加しているが、客単価の増加によるもので、客数は伸びていない」との声が聞かれた。「納品先の休業により、酒の配達の上売が全くない」「学校休校等による売上がない」「地区の会合等の利用がゼロ。5月いっぱい続きそう」など、総じて景況感は悪化。

〔青果卸売市場〕

販売は、前月比やや増加、前年比はやや減少も、新型コロナウイルスの影響による「道の駅の休業や業務筋の販売の大幅減少」で、景況感は悪化との声。

野菜は、「キャベツ・白菜は品薄で高値も、他は低調な販売」で、「スーパー関係は売上増となったが、全体の動きは山菜を中心に低調」という。

また果実は、「苺は前年並の販売も、柑橘類は給食等の需要なく大幅減。コロナの影響が野菜より顕著に出た」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、景況感についてはやや悪化との声。先行きも弱含みという。当月、仕入、販売とも価格に大きな動きはなかった様子。商品在庫は減少傾向という。

衣料品の売上は、前月比、前年比とも減少という。「コロナの影響により来店客は減少、訪問販売も出来ない」との声が寄せられた。

電化製品の売上は、前月比、前年比とも減少との声。「コロナによる営業活動の自粛が響き、全般的な数字が落ちている」「今後の経済動向が見通せない中、取引先の設備投資や購買に関する意欲は低い」との声が聞かれた一方、「点検・検査等の必要不可欠な商材は好調であり、非常に助けられている」との声も。

OA機器の売上は、前月比減少、前年比はやや増加との声。「官公庁の年度始めの予算によって忙しい時期ではあるが、今年は厳しい」との声が聞かれ、景況感は悪化しているという。

土産物の売上は、前月比減少。景況感も悪化との声。先行きも不透明感があるという。

サービス業

医療、介護関連機材の売上は、前月比、前年比ともやや減少。「仕入先の商品が欠品で、販売ができない」「コロナウイルスを恐れて病院へ行く患者の減少が売上減に影響している」などの声。

市内料理店の売上は、前月比、前年比とも減少。「夜間のお客様が全くなく、以前の頃に戻るのか心配。常連様はありがたい」「テイクアウトで売り上げるしか方法がない。SNSを利用し、4月下旬にはテイクアウトによる売上が大きく伸びた」などの声が寄せられた。また飲食店の苦境により、市場の業者用食材が少なくなったことで、仕入価格の上昇が見込まれている

るといふ。

市内宿泊施設の売上は、前月比、前年比とも減少、特に金～日曜日、祝日の減少が大きいとの声。「稼働率が下がり、単価も下がった」「長野県の自粛要請ではビジネス客を主とした宿泊施設は対象外だったが、影響は大きかった」などの声が寄せられた。

屋神温泉の売上は、前年比減少。「5月末まで休業予定。最悪の状況」「他県の自粛が早く解除されない」と来客が見込めない「団体が動かず、当面再開は難しい」「解除されたとしても、今までのようにお客様が来てくれるのか不安。3密への対応で改修も検討しなければならぬ」などの声が聞かれた。

タクシーの売上は、前月比、前年比とも減少との声。「各種イベントの自粛だけでなく、不用意な外出や病院診察の自粛等により、昼間の移動困難者の利用が激減。仕事量は皆無で八方ふさがり」「コロナの影響で休業した公共交通事業者向けの協力金等もなく、企業存続、ひいては地域の公共交通の維持が危ぶまれるのではないかな」などの声が寄せられた。

【調査先企業の声】

- ・「コロナで売上減。借入によりしのぐ」「厳しいというより、今後経営できるかどうか瀬戸際の状況」「厳しくなると思われる」
- ・先が見えないのが一番辛い。
- ・緊急事態宣言の延長により、5月も厳しい。
- ・インサイドセールス等を活用しているが、まだまだ軌道に乗っていない。
- ・コロナの影響で旅行のスタイルがどのように変化していくのか、不安。
- ・現状、人員は不足しており、今後2名ほど増員を計画している。
- ・アルバイト・パートには休んでもらっているが、納品先が再開すれば人員を戻せる。
- ・従業員には建物屋根の塗装や、今までできなかったところの掃除などをしてもらっている。
- ・コロナ禍により、地元の業界構成自体に大きな変化が起こる可能性もある。

【自動車新規登録台数 前年増減率の推移】

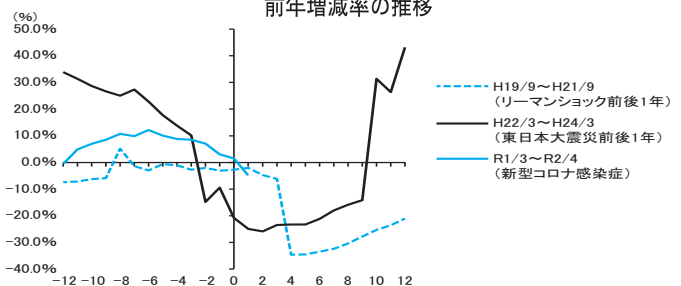
松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数（新車＋中古車）は、前年比で5%減少した。

次のグラフは、松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数（新車＋中古車）の前年増減率をリーマンショック時（H20/9）、東日本大震災時（H23/3）と比較したものである。

これによると、リーマンショック時は、それまでほぼ前年並みだった登録台数が、リーマンブラザーズ破綻の4か月後から前年比30%超の減少となり、その後の回復にも時間がかかっていることが見てとれる。東日本大震災時は、発生以前から減少傾向にあり、震災10か月後に大きく回復した。

今回のコロナショックはリーマンショックと比較して語られることが多いが、コロナの影響が個人の収入にも影響が及ぶことも考えられる。今夏にかけて自動車登録台数がどのような推移となるのか、注視が必要と思われる。

自動車新規登録台数（松本自動車検査登録事務所管内 新車＋中古車）前年増減率の推移



（資料：松本自動車検査登録事務所）

－ 2020年4月の新卒者採用に関するアンケート調査結果 －

しんきん南信州地域研究所では、当地域の事業者様の、本年4月における高校、大学、専門学校等の新卒者の採用に関する意識や、来年の新卒者採用、今後の中途採用に関するアンケートを実施しました。この中では、今後の採用方針に関する今般のコロナの影響についても伺っています。今回はその結果をご紹介します。

ご多忙の中ご回答いただいた皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

1. アンケート調査結果

I アンケート概要：

- ・本誌調査先企業にアンケート用紙を配布し、郵送若しくはメールで回収。
- ・回答総数 56（製造業 27、建設業 12、卸・小売、飲食、宿泊業、運輸業などを含む商業・サービス業 17）
- ・調査期間 令和2年4月12日～令和2年4月23日

II アンケートの結果：

●本年度新卒者の採用に関する認識

本年度の高校・大学・専門学校等の新卒者の採用について、「予定通り採用できた」「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」、「もともと採用予定はなく、採用しなかった」の内から一つ選択してもらった。

この中で、採用予定のなかった事業者は、全体では33者、59%となっている。業種別に「予定通り採用できた」「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」など新卒者の採用に積極的だった回答割合を見ると、建設業が58%と最も高く、本アンケートによる限り、他産業に比べ新卒者の採用意欲が高かったといえるのではないか。

今年度の新卒者の採用予定があった23者中、「予定通り採用できた」とする事業所は全体で7者。約30%程度となっている。

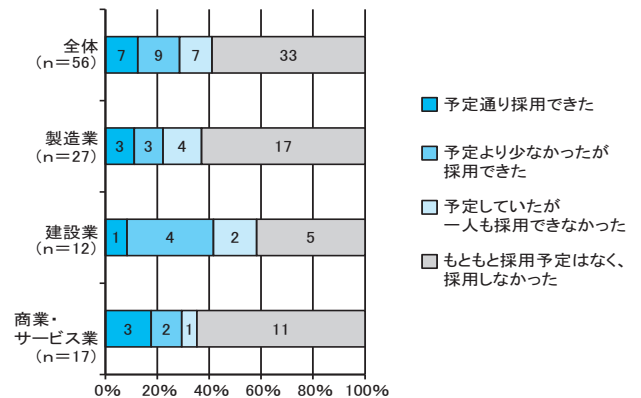
一方、今年度の新卒者の採用予定があった事業者の中で「予定していたが一人も採用できなかった」との回答割合は製造業が最も高く、10者中4者、40%を占めていた。

●来年度の新卒者採用の予定とコロナが与える影響

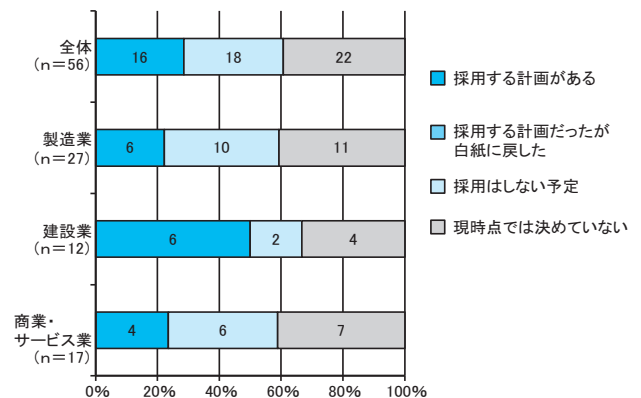
本調査では、来年の新卒者の採用についても、「採用する計画がある」「採用する計画だったが、白紙に戻した」「採用はしない予定」「現時点では決めていない」の内から一つ選択してもらっている。

この中で、「採用する計画がある」とする業者は16者、29%となっている。建設業で採用計画がある事業者は6者、50%に上り、ここでも建設業の新卒者の採用意欲が高い様子が窺える。

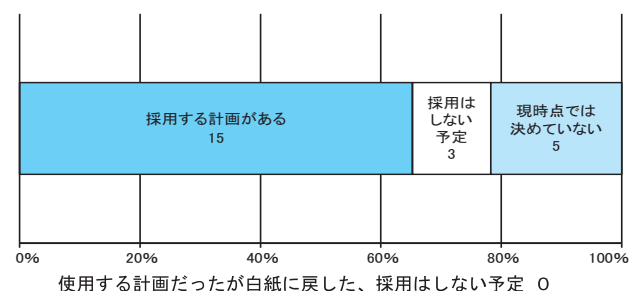
今年（2020年4月）の、高卒・大学新卒者は、予定通り採用できましたか？



来年、高卒・大卒の採用予定はありますか？



今年新卒者を採用した事業者の、来年の採用計画



また、今年度の新卒者の採用について、「予定通り採用できた」「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」など採用予定があった23者の内、65%に当たる15者が来年度も採用の計画を持っており、今年度新卒者の採用を予定していた多くの事業者が、来年度も新卒者の採用を計画している。

ところで、来年度の新卒者の採用を「採用する計画がある」あるいは「現時点では決めていない」とした38者の内31者について、来年の新卒採用にコロナの影響がありそうか尋ねたところ、「現時点では不明」との回答が最も多い。この中には、「複数の部門で新卒者採用の必要性を感じているが、先行き不安で迷っている」など、コロナの影響もあってか先行き不透明感が強いいため、来年度の新卒者の採用を躊躇する声も聞かれた。

● 中途採用、外国人採用とコロナの影響

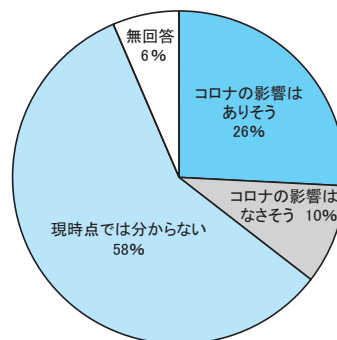
また、本調査では、中途採用や外国人採用について、今後半年程度の予定も聞いている。

この中で、「従来どおりの人数を募集し続ける予定」「予定より減らして募集し続ける予定」「予定していたが、現時点では白紙に戻した」など、中途採用、外国人採用に積極的な回答は、製造業や建設業で3割程度、商業・サービス業で4割程度あった。こうした事業者からは、「現時点では充足しているが、必要に応じて募集する」「中途採用を募集予定」「当社は中途採用のみ募集しているが、良い人材があれば採用する」「通年中途採用の募集をかけている。外国人についても採用できるが、現時点では採用に至っていない」といったコメントが寄せられた。

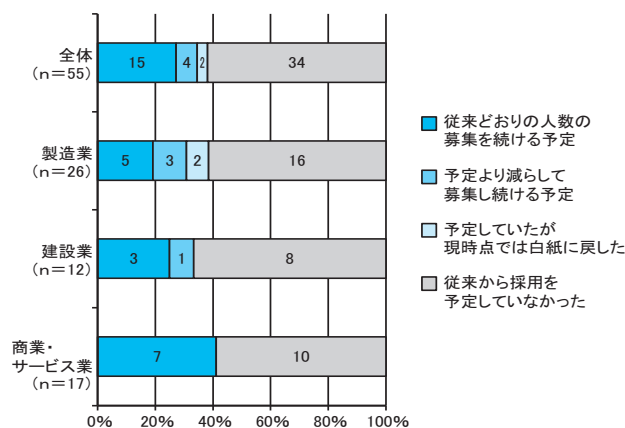
建設業について言えば、前述のとおり今年の新卒者採用について58%が積極的だったことを考えると、外国人、中途採用もさることながら、新卒者の採用により重点を置いていると見ることもできると思われる。

今後半年程度の中途採用や外国人採用について、「従来どおりの人数を募集し続ける予定」「予定より減らして募集し続ける予定」「予定していたが、現時点では白紙に戻した」など、中途採用、外国人採用に積極的な回答をした21者の内18者について、今後の中途採用、外国人採用にコロナの影響がありそうか尋ねたところ、「現時点では不明」との回答が最も多い。回答数は少ないが、「採用を増やす予定」との回答もあり、注目される。「採用を減らした、ないし中止した」とする業者からは、コロナによる需要の急減がその理由との声が寄せられた。

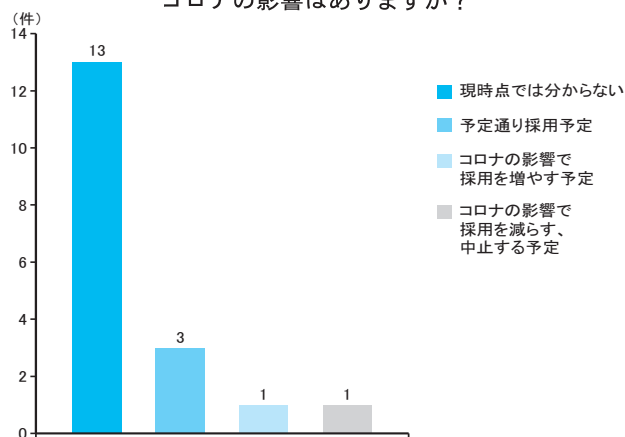
来年の新卒採用に、コロナの影響はありそうですか？
(n=31)



外国人採用、中途採用について、今後概ね半年の予定を教えてください



今後概ね半年程度の中途採用・外国人採用に、コロナの影響はありますか？



流れ雲の目（35） 明日に向かって撃て

飯田信用金庫 地域サポート部
専門アドバイザー 小泉 敏郎

全世界がコロナ禍に巻き込まれてしまった。発生原因についていろいろと取り沙汰されているが、この武漢ウイルスが今世界中に大きな脅威を投げかけている。今後はこの発生原因についての大きな課題が残り、世界各国間の貿易にも関税を含め強い摩擦が出てくる可能性がある。感染症ウイルスとの戦いは相手が悪い、話し合いでの解決は望むべくもないし、絶滅するにはワクチンの早期開発か人類が抗体を持つしか方法がない。

5年程前にかの有名なマイクロソフトのビル・ゲイツが、人類最大の脅威は戦争よりもウイルスである、今後世界戦争が起こるとしたら従来の様な核や武力行使ではなく感染症との戦いになるだろうといみじくも言っていた。各国は核や武器に対して巨額の投資、抑止力に対する投資も準備をしているが感染症への抑制への投資はほとんどされていないのが現状だ、早くやらなければ間に合わないとも忠告している。人が動くことによりウイルスはどんどん伝搬されていく。グローバルな時代、人や物を動かさないわけにはいかないが結果としてウイルスは見る見るうちに全世界に伝搬されてしまう。各国が協力して感染症への対応、抑制システムを創り上げないと人類滅亡へと進んでしまう。

表題の【明日に向かって撃て】は昔の西部劇で若きロバート・レッドフォードが出演した映画の題名であるが、内容はほとんど覚えていない。だがこの言葉が私は好きだ、どんな困難が降りかかっても、歯を食いしばりそれを乗り越え明日に向かって飛び立つのだ、撃つという表現は現代的ではないかもしれないがその強い意志を感じて頂ければ幸いである。過去の栄光よりもこれから明日からどう生きるかが大事である。

皆さんの会社も大変な状況だと推察されます、この難局をどう切り抜けるか非常に難しい判断に迫られていることと思います。ただこれは貴社だけではなく日本中の企業、世界中の国民に降りかかった災難なのです。誠に残念なのですがこの様な世界的な危機に対しての解決策について言う言葉を持ち合せてはいませんが、あえて言うならば収入減少時はとにかく支出の抑制しかありません。後は気力と体力を維持することが一番大事なことです。新しいアイデアで活路を開く事はもちろん大事ですが、日頃できなかった工場や店の整理整頓、5Sの見直しや社員の危機意識の高揚、意識改革、設備機器の清掃点検や修理、そしてコロナ禍が過ぎた後の対策、数年先の経営計画、客先が戻った時の生産体制等、会社の基礎体力を再点検し足腰を鍛え直すしておく必要があります。

これだけ経済が減速してしまった後どのように復帰して行くのか予想ができない部分も多々ありますが、やはり需要は大きく伸びるものと思われれます。その流れに乗り損なうわけにはいきません、そこを皆さんがそれぞれの環境や立場の中で考え予想して準備しておくことが生き残る方法だと思います。遠い将来のことは分かりませんが、ここまで落ち込んだものはどこまで回復するかは別として、とにかく上昇気流が起こることは間違いないと思います。落胆し落ち込むのではなく、社長が明るく元気な顔で社員を引っ張って行ってください、暗い顔にしても状況は決して良くはなりませんし従業員への士気にもかかわります、元気なTOPだから従業員は付いて行くのです。歯を食いしばり明るい顔で率先垂範しかありません。

社長、身体の具合は如何ですか？こんな時だからこそ身体を鍛えましょう、何も大げさに考えることはありません。歩くだけでいいのです、最低一時間約5km歩くだけでいいのです。歩幅を大きくとり腕を大きく振りながら早めと普通、速度を3分位ごとに交互に歩くのです。人間の身体は歩くようにできています、姿勢よく前を向いて胸を張って歩いてください。廻りの景色を楽しみながら歩きましょう、身体がスッキリしてきます、それに伴い頭の中も靄が晴れきっていい考えもでてくることでしょう。健全な心は健全な身体に宿ると言う諺もあります、こんな時だからこそ身体を大いに動かしてください。

私は若いころにギョク腰をやってしまい背骨の何番目かの骨が歪んでいます、疲れたり体重が増えたとすぐに腰にきます、しかし歩くことでそれを克服しました。毎日は無理ですが歩く日は2時間約10km実施しています。

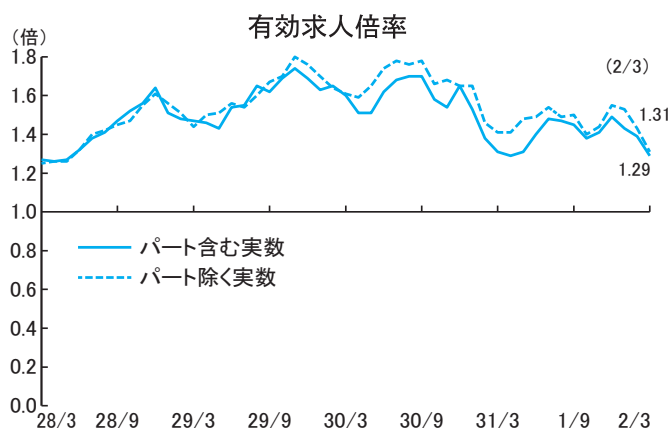
会社の課題を考えながら歩いてください、体調が良くなり明るい顔もできるようになります。これからの社会環境は大きく変化していくでしょう、社会構造が変わってきます、withコロナの社会になるのです。接触から非接触、人が動くからものが動く構造、一極集中から地方への移転など、その変化に対応するためにも柔らかい頭と強靱な肉体を持ち危機に挑戦する強い意志が必要になります。その前向きな姿勢が新たなビジネスチャンスにも繋がるのです。コロナ禍を乗り越え次に来る危機に備えようではありませんか、明るい未来に向けて挑戦して行きましょう。貴方の会社そして従業員、その家族の為に勝ちぬきましょう。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

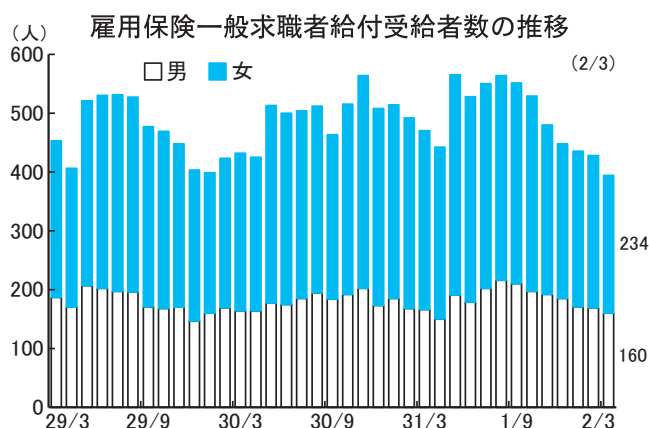
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見しお話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、お取引の支店、または 飯田信用金庫 地域サポート部 地域サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



令和2年3月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.29倍と、前月から0.10ポイント低下。パートを除く実数も1.31倍で、前月から0.12ポイント低下している。



令和2年3月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は9人減少、女性も25人減少。全体では394人で、前月から34人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)

リニア時代を迎える飯伊地域の資源（8）

赤石山脈（南アルプス）（5）飯伊地域

～飯伊地域の中心で南アルプスを考える～

これまで、南アルプスについて飯田市遠山郷（2019年4月発行号No.481）、大鹿村（同年6月発行号No.483）、上伊那地域（同年8月発行号No.485）からレポートした。その後南アルプスの反対側、山梨県や静岡県を取材する予定でいたところ、今春からの新型コロナウイルスにより、緊急事態宣言は全国的に解除されたものの、県境を越えた移動は自粛せざるを得ない状況が続いている。そこで、今回は飯伊地域において「南アルプスとは」を考えてみたい。



松川町上片桐からの眺望
雪のピークを左から、塩見岳（百名山）、小河内岳、悪沢岳（同）、荒川（前・中）岳、赤石岳（同）

1. 飯伊地域住民はなぜ南アルプスに関心がないのか

シリーズ導入部（2019年1月発行号No.478）で、南アルプスは「わが国第一級の資源」と述べた。しかしながら当地域の皆さまの南アルプスに対する関心は低いようである。シリーズ最初の頃周りの人に尋ねたところ、南アルプスの主要ピーク名を言えないことが多かった。また、当金庫の平成27年度「リニア中央新幹線開通に係る調査」のアンケート調査「紹介したい飯田市下伊那の祭り・イベント・場所」の項目で「南アルプス・アルプスの眺望」はアンケート回収数330中（複数回答）6票で27位という結果であった。因みに、山岳関係では「しらびそ高原」が19票で15位、「風越山・登山マラソン」が4票37位などがある。山岳関係と言えなくもない「下栗の里」が39票7位ではあるが、当地域では全般に山関係は関心が薄いといえるのでないか。

当地域のこの現状について、前年度まで飯田山岳会会長を務められた伊藤康德氏は「学校登山が影響しているのでは」という。昨今学校登山が従来のように実施できず取りやめとなってきていることかと思いきや「学校登山で苦しい思いをして、もうあのようなことはこりごりと感じるのでは」とのこと、「県外で生まれ育ち、山にあこがれて信州に移り住んだが、こちらでは学校登山で木曾駒ヶ岳（西駒ヶ岳）など第一級のピークに行くと聞き驚いた。確かに達成したとき得るものは大きいですが、コンディションの悪いときに遭遇するとたいへんな思いをする」との指摘であった。

2. 飯伊地域の特性は

当地域で南アルプスへの関心が低い理由として、小欄としては「飯伊地域では南アルプスが遠くて見えないから」という仮説を立ててみる。

「遠い」というのは、飯田市市街部の中心（例えば飯田市役所）から南アルプスの主稜線まで地図上で測ると丁度30km位となる。これは甲府市中心部から南アルプス稜線部までの距離とほぼ同じ。甲府市内に立って南アルプスに近いという感じは受けませんが、私たちにも同様に南アルプスは案外と遠いことが判る。

安曇野市から大町市を通り小谷村へ通ずる国道148号線（糸魚川街道）を基準に測ると、北アルプス稜線まで松川村辺りで20km弱、白馬村になると10km程度とぐっとアルプスが迫ってくる感じとなり、臨場感が違って来る。

「山との距離(感)」という考えに至ったのは、上伊那地域を訪問した際、山がたいへん近く見えるのに気づいたことによる。中央アルプス観光に取り組んでいる駒ヶ根市では、国道153号線を基準とすると、中央ア木曾駒ヶ岳までは12km程度。また、駒ヶ根市街地に立つと東に南ア仙丈ヶ岳が大きく迫ってくるが、同じく20km程度となっている。南アルプス観光に注力している伊那市では、仙丈ヶ岳と並んで甲斐駒ヶ岳、鋸岳(稜線まで約20km)を市内のかなり広い範囲で見ることができる。



駒ヶ根市街地からの南アルプス(同市上穂北)
左 仙丈ヶ岳(百名山)、右 北岳(同、日本第二の高峰)

3. 飯伊地域では遠い上に見えない

「見えない」については、飯伊地域では遠い上に、伊那山地や南アルプスの前山部分に遮られ、見える場所が限られる。

北アルプスでは、主要ピークの裾がそのまま手前まで下りてきて、山麓にスキー場があったりする。上伊那地区にも前山はあるが、飯伊地区よりは低く、アルプスが見える範囲は広い。飯伊地域では、例えば前頁冒頭の写真では、伊那山地の小渋川の浸食による切れ目から赤石岳から塩見岳までひと繋がりで見えているが、



伊那市街地からの南アルプス(同市荒井)
左から鋸岳(二百名山)、甲斐駒ヶ岳(百名山)、仙丈ヶ岳(同)

これより南に移っていくと前山が高くなって遮られ見えにくくなる。また、松川町の辺で主稜線まで20km程度だが、南に下る程主稜線との距離がだんだん遠くなる。飯伊地区で南アの眺望を得るためには、一般に飯田市街地面とか中央自動車道より上の標高が必要で、それより低い地点や竜東地区では難しくなる。勿論、飯伊地域を巡っていると、思いがけず山の切れ目などに南アルプスのピークを見つけ感動する場所もあり、飯伊地域の皆さまそれぞれの「私の南アルプス」をお持ちのこととは思われるが、地域全体としての南アルプス観はなかなかまとまらず、南アルプスに対する温度差が大きいのでは、というのが「遠くて見えない」仮説の内容となる。

4. 南アルプス観光には厳しい状況が続く

前回までのレポートで、風水害による通行止めで各地の入込みに影響が出ていることを伝えた。先ず、大鹿村から地蔵峠を経て飯田市上村に至る国道152号線は、復旧対応が終了、杖突峠から伊那谷に入り遠山郷を縦断して遠州に抜ける「一気通貫」のドライブ・ツーリングが再び可能となった。また昨年通行止めとなっていた下栗の里から御池山クレーターを経てしらびそ高原へ向かう道路も通行可能となっている。が、折からのコロナウィルスにより外出の自粛や観光施設の閉鎖措置がとられており、観光客が殆ど見られない状況となっている。

聖岳^{ひじり}などに向かう便ガ島^{たよりがしま}や易老度^{いろど}への市道は今年度末を目途に復旧工事が続けられており、引き続き芝沢ゲートからの徒歩を強いられているが、コロナウィルスに関し、山岳関係4団体((公社)日本山岳会、日本勤労者山岳連盟、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会、(公社)日本山岳ガイド協会)は、山小屋での3密や遭難時の山岳救助関係者や医療関係者への負荷を考慮し、登山・クライミング行為の自粛を呼びかけた(本年4月20日、各団体HP)。5月25日の緊急事態宣言全面解除後は、第二次感染症拡大防止等を内容とした「登山・スポーツクライミング活動ガイドライン」を定め、引き続き協力を呼び掛けている。地区内の各地点が従来の賑わいを取り戻すには尚暫くの期間を要すると思われる。

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア対策三遠南信対策室 加藤 修平)